

所沢市医師会学術講演会

平成27年9月10日(木)19:30～(本講演は19:40～)

所沢パークホテル

座長 宮本町内科クリニック 院長 竹内 昭彦

講師 東京都健康長寿医療センター研究所

研究部長 新開 省二 先生

「わが国高齢者の健康長寿の疫学研究

抄録

東京都健康長寿医療センター研究所は1972年に設立された東京都老人総合研究所を前身とし、6年前に東京都老人医療センターと統合され、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターとして運営されている。設立当初から一般高齢者を対象とした追跡調査（疫学研究）を重視し、これまで総死亡や健康余命をアウトカムとしてその関連要因が調べられてきた。その結果、高齢者の余命や健康余命に影響するものとして、高血圧や糖尿病などの生活習慣病の他、老化による心身機能の変化も大きいことがわかってきた。また、前者を疾病要因、後者を老化要因とすると、前期高齢期では疾病要因の関与が大きいですが、後期高齢者では老化要因の関与が強い。また、高血圧や糖尿病などの生活習慣病が余命や健康余命に及ぼす影響は前期高齢期では強いですが、後期高齢期になるとかなり減弱する。前期高齢期の疾病管理は大切であるが、後期高齢期は機能的健康度を指標とした疾病管理が重視されるべきである。

ご略歴

東京都健康長寿医療センター研究所

社会参加と地域保健研究チームリーダー（研究部長）

1984年愛媛大学大学院医学研究科博士課程修了（医師、医学博士）

1990-91年文部省在外研究員としてトロント大学医学部留学、愛媛大学医学部助教授をへて1998年東京都老人総合研究所に勤務。2005年から現職。



